

大宮中学校社会科《第2学年》年間指導計画

社会科 教科目標 社会的事象の地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の育成を目指す。

例：知は、「知識・技能」、思は、「思考・判断・表現」、態は「主体的に取り組む態度」

月	単元名等と配当時数	指導目標	指導内容	観点	評価規準
4 5	◎武家政権の展開と世界の動き (25時間)	<p>織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解させる。</p> <p>江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。</p> <p>産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。</p> <p>社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。</p> <p>交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p>【2】戦乱から全国統一へ</p> <p>【3】武士による全国支配の完成</p> <p>【4】天下泰平の世の中</p> <p>【5】社会の変化と幕府の対策</p>	<p>知</p>	<p>【2】織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などをもとに、近世社会の基礎がつけられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>【3】江戸幕府の成立と大名統制、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係をもとに、幕府と藩による支配が確立したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>【4】身分制と農村の様子をもとに、幕府と藩による支配が確立したことを、産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>【5】社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどをもとに、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p>
				<p>思</p>	<p>【2】統一政権の諸政策の目的に着目して、中世社会から近世社会への変化が生み出され、日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【3】統一政権の諸政策の目的に着目して、江戸幕府により全国を支配するしくみが作られ、安定した社会が構築されたことを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【4】統一政権の諸政策の目的に着目して、江戸幕府により全国を支配するしくみが作られ、都市や農村における生活や変化し、安定した社会が構築されたことを考察したり、産業の発達と文化の担い手の変化に着目して、都市を中心とした経済が形成されていく中で、日本の文化の空間的な広がりが生み出され、それを背景として各地方の生活文化が生まれたことや、生産技術の向上や交通の整備と町人文化の特徴を考察したりするなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【5】社会の変化と幕府の政策の変化に着目して、貨幣経済が農村に広がる中で経済的な格差が生み出され、それらの背景として百姓一揆がおこったことや、社会や経済の変化への対応としての諸改革の展開を考察するなど、</p>

				<p>事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【2】統一事業について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>【3】江戸幕府の成立と対外関係について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>【4】産業の発達と町人文化などについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>【5】幕府政治の展開について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
6	<p>㊦世界と比べた日本の地域的特色 <15時間></p>	<p>世界的視野などから見た日本の地域的特色を取り上げ、国土の特色を、自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結びつきの視点から大観させる。</p>	<p>【1】自然環境の特色 【2】人口の特色 【3】資源や産業の特色 【4】地域間の結びつきの特色</p>	<p>知</p> <p>日本の地域的特色を写真、図版、地図、雨温図などさまざまな資料を適切に選択して読み取り、理解している。</p> <p>思</p> <p>日本の地域的特色が、どのように変化し、どのような課題を抱えているのか、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>態</p> <p>身近な地域や生活との関わりに着目して、日本の地域的な課題について、主体的に追究しようとしている。</p>
7	<p>㊦日本の諸地域 <45時間></p>	<p>下の(1)から(5)までの考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。</p> <p>(1)自然環境を中核とした考察 (2)人口や都市・村落を中核とした考察 (3)産業を中核とした考察 (4)交通や通信を中核とした考察 (5)その他の事象を中核とした考察</p> <p>幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。</p> <p>上の(1)から(5)までの考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。</p> <p>日本の諸地域において、それぞれ左の(1)から(5)までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p>【1】九州地方 【2】中国四国地方 【3】近畿地方 【4】中部地方 【5】関東地方 【6】東北地方 【7】北海道地方</p>	<p>知</p> <p>幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。</p> <p>左の(1)から(5)までの考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</p> <p>思</p> <p>日本の諸地域において、それぞれ左の(1)から(5)までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>態</p> <p>日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
8				
9				
10				
11				
12				
1				

2	<p>●近代国家の歩みと国際社会 (20時間)</p>	<p>政治体制の変化や人権思想の発達や広がり、現代の政治とのつながりなどと関連づけて、アメリカの独立やフランス革命を取り上げ、政治的な対立と社会の混乱、そこで生じた犠牲などを経て近代民主政治への動きが生まれたことに気づかせる。</p> <p>工業化による社会の変化という観点から、イギリスなどにおける産業革命を取りあげ、資本主義社会が成立したことや労働問題・社会問題が発生したことに気づかせる。</p> <p>産業革命の進展にともなって、欧米諸国が新たな工業製品の市場や工業原料の供給地を求めてアジアへの進出を強めたことを理解させる。</p> <p>欧米諸国のアジア進出と関連づけて取り扱い、アヘン戦争後に幕府が対外政策を転換して開国したこと、その政治的および社会的な影響を理解させ、それが明治維新の動きを生み出したことに気づかせる。</p> <p>明治維新について、複雑な国際情勢の中で独立を保ち、近代国家を形成していった政府や人々の努力に気づかせる。</p> <p>富国強兵・殖産興業政策の下に新政府が行った、廃藩置県、学制・兵制・税制の改革、身分制度の廃止、領土の画定を取りあげ、学制など今日につながる諸制度がつけられたことや、身分制度の廃止にもかかわらず現実には差別が残ったことに気づかせる。</p> <p>欧米諸国から取り入れた制度や文化の影響で、社会のようすや人々の生活が大きく変化したことに気づかせる。</p>	<p>【1】欧米諸国における「近代化」</p> <p>【2】開国と幕府の終わり</p> <p>【3】明治政府による「近代化」の始まり</p>	<p>【1】市民革命と産業革命を経た欧米諸国の世界進出、社会主義の登場の背景や植民地への影響を理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。</p> <p>【2】欧米諸国のアジア進出に対する清の動きと日本の開国と貿易の拡大による政治的・経済的・社会的な影響を理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。</p> <p>【3】富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などをもとに、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p>
3				<p>【1】工業化の進展と政治や社会の変化に着目して、近代化の進展により欧米諸国の政治や社会がどのように変化したかを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【2】工業化の進展と政治や社会の変化に着目して、欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が、日本の政治や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【3】明治政府の諸改革の目的に着目して、諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響を考察したり、明治維新について、近世の政治や社会との違いに着目して、近世から近代への転換のようすを考察したりするなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
				<p>【1】欧米における近代社会の成立について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>【2】欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>【3】明治維新と近代国家の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>